学校番号	２１５

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	(学)発展英語	2	3	Cutting Edge Green

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

リーディングを中心に「読む力」を向上させ、大学入試に向けての準備を行います。文法・構文を復習しながら行うので、現段階で不安があっても十分についてこられます。日常的に単語などを学習し、土台をしっかり作っておくようにしましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第 3 学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標		◇まとまりのある英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、全体の要旨を理解することができる。 ◇難しい部分を読み返すなどしながら、よく知っている分野の説明書や記事などを詳しく理解することができる。			◆身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。 ◆慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，読むこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，読み手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法

1	Chapter 1 食事と CO2 Chapter 2 必要水分量 Chapter 3 英語の変遷 Chapter 4 トランスヒューマン	読むこと	a: 主語と動詞を把握、動詞の後に続く語句をつかみ、等位接続詞や節の働きを考えて読むことができる。 b: 英文の構造を理解でき、補語や等位接続詞、節のはたらきを考えて内容をつかみ、問題演習に取り組むことができる。 c: 学習した文法項目を意識して流れを整理してまとめを読むことができる。	課題の提出状況 定期考査
		書くこと	a: 主語と動詞を把握、動詞の後に続く語句をつかみ、等位接続詞や節の働きを考えて書くことができる。 b: 英文の構造を理解でき、補語や等位接続詞、節のはたらきを考えて内容をつかみ、問題演習に取り組むことができる。 c: 学習した文法項目を意識して流れを整理してまとめの問題演習に取り組むことができる。	課題の提出状況 定期考査
			a: b: c:	
			a: b: c:	
	中間考査			
	Chapter 5 絶滅危惧種の選定 Chapter 6 嘘も方便 Chapter 7 火の制御とその効果 Chapter 8 老人ホームへの贈り物	読むこと	a: 並列関係、指示語(句が指し示すもの、名詞(句)の他の品詞への転用について理解し、読むことができる。 b: 並列関係、指示語(句が指し示すもの、名詞(句)の他の品詞への転用を考えて内容をつかみ、問題演習に取り組むことができる。 c: 学習した文法項目を意識して流れを整理してまとめを読むことができる。	課題の提出状況 定期考査
		書くこと	a: 強調調構文、形式目的語、関係代名詞 what、倒置について理解し、書くことができる。 b: 強調構文、形式目的語、関係代名詞 what、倒置を考えて内容をつかみ、問題演習に取り組むことができる。 c: 学習した文法項目を意識して流れを整理してまとめの問題演習に取り組むことができる。	課題の提出状況 定期考査
			a: b: c:	
			a: b: c:	
	期末考査			
2	Chapter 9 生活賃金 Chapter 10 アフリカのブランド商品 Unit 11 サンゴ礁 Unit 12 緑色の血液	読むこと	a: 分詞構文、同格表現、パラグラフリーディング、ディスコースマーカーついて理解し、読むことができる。 b: 逆接、列挙・追加、対比、結果・結論を表すことばを考えて内容をつかみ、問題演習に取り組むことができる。 c: 学習した文法項目を意識して流れを整理してまとめを読むことができる。	課題の提出状況 定期考査
		書くこと	a: 関係代名詞の継続用法、仮定法現在、動名詞、現在分詞について理解し、書くことができる。 b: 関係代名詞の継続用法、仮定法現在、動名詞、現在分詞を考えて内容をつかみ、問題演習に取り組むことができる。 c: 学習した文法項目を意識して流れを整理してまとめの問題演習に取り組むことができる。	課題の提出状況 定期考査
			a: b: c:	
			a: b: c:	
	中間考査			
	Chapter 13 文明の隆盛 Unit 14 豪華客船の沈没	読むこと	a: 無生物主語、it の様々な使い方、補足説明をする分詞句・形容詞句、描出話法について理解し、読むことができる。 b: 無生物主語、it の様々な使い方、補足説明をする分詞句・形容詞句、描出話法を考えて内容をつかみ、問題演習に取り組むことができる。	課題の提出状況 定期考査

	Unit 15 教育と報酬 Unit 16 自動運転車		c: 学習した文法項目を意識して流れを整理してまとめを読むことができる。	
		書くこと	a: 進行形と受動態を組み合わせた形、前置詞＋関係代名詞、独立分詞構文、have＋O＋過去分詞, 助動詞＋have＋過去分詞について理解し、書くことができる。 b: 進行形と受動態を組み合わせた形、前置詞＋関係代名詞、独立分詞構文､have＋O＋過去分詞, 助動詞＋have＋過去分詞を考えて内容をつかみ、問題演習に取り組むことができる。 c: 学習した文法項目を意識して流れを整理してまとめの問題演習に取り組むことができる。	課題の提出状況 定期考査
			a: b: c:	
			a: b: c:	
	期末考査			
3	Unit 19 Unit 20	読むこと	a: 接続詞の that、関係代名詞の that、not only A but also B のバリエーションを理解して読むことができる。 b: 接続詞の that、関係代名詞の that、not only A but also B のバリエーションを考えて内容をつかみ、問題演習に取り組むことができる。 c: 学習した文法項目を意識して流れを整理してまとめを読むことができる。	課題の提出状況 定期考査
		書くこと	a: 前置詞＋疑問詞、不定詞の否定形、分詞構文の表現を理解し、書くことができる。 b: 前置詞＋疑問詞、不定詞の否定形、分詞構文の表現を考えて内容をつかみ、問題演習に取り組むことができる。 c: 学習した文法項目を意識して流れを整理してまとめの問題演習に取り組むことができる。	課題の提出状況 定期考査
			a: b: c:	
			a: b: c:	
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度